

本プロジェクトの目的は社有林において間伐・下刈り等により、健全な森林育成を図るとともに、温室効果ガスの更なる吸収を図ること。また、森林吸収量をクレジットとして売買することで得られた資金を活用し、更なる森林育成活動に取り組むことです。浦河町は山と海に隣接している地域であり、農業はもとより漁業が盛んな地域であります。魚類・貝類、そして『日高昆布』でも知られている昆布の産地です。弊社社有林もこうした地形のなかにあります。社有林では主にシラカンバ・トドマツを育成しております。間伐を中心とした森林整備を適切に行うことで、持続可能な森林吸収量を確保します。また、毎年南組グループ職員及びその家族による植樹祭を行っており、育林活動を通じて社員のレクリエーションの場としても役立てております。

プロジェクトの実施場所	北海道浦河郡浦河町
吸収量 (t-CO2)	2008年4月～2011年1月 943 (認証済) 2011年度 0 (年月発行予定) 2012年度 873 (2013年 発行予定)
在庫量	t-CO2 (2012年6月時点) 886
1t-CO2あたりの希望単価	—



弊社グループは昭和三年創業で、港湾土木、一般土木、生コンクリート製造業、木工業を主体に地域に根ざした企業活動してまいりましたが、本業である建設業・製造業においては環境配慮は大きな命題であり、事業活動が環境に与える負荷を考慮し、現在新事業として展開している「ウォータージェット工法」で使用する超高压水発生装置等も、環境負荷の低い作業機械を選択し展開しております。しかし、いくら環境を考えた機種を選定し温室効果ガスの抑制に配慮しているとは言え、工事現場から排出されるCO2はなかなか抑制することが出来ないのが現実です。そこで弊社グループ全体で思索した結果、国家的課題である地球温暖化対策として『森林づくり活動による二酸化炭素吸収』に取り組むことを決定しました。また、本プロジェクトで得た資金の一部を、『東日本大震災被災地復興支援の義援金』として寄付させて頂いております。



■担当者連絡先  
管理課 成田 悟

TEL:0146-36-2311 EMAIL:narita@minamigumi.co.jp